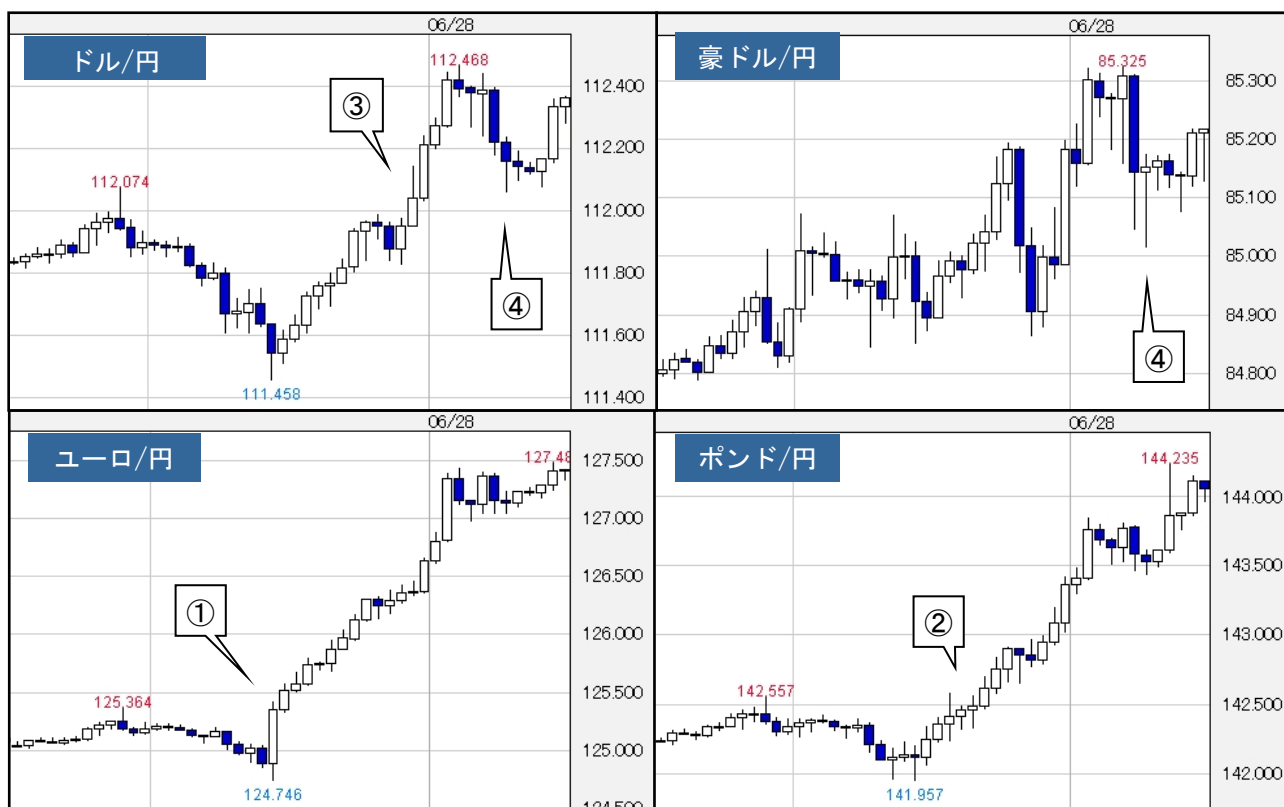


6月28日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、上方に視界が開ける

27日(火)の為替相場



期間：27日(火)午前6時10分～28日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 欧州中銀(ECB)のドラギ総裁が「すべての兆候はユーロ圏の景気回復の強まりと広がりを示している。デフレ圧力はリフレに変わった」などと発言。タカ派的な内容を受けて欧州債利回りが上昇すると共にユーロ買いが強まった。
- ② 英中銀(BOE)は金融安定報告で、銀行に求める資本バッファーを11月から1%に引き上げると発表。また、カーニーBOE総裁は「ブレグジットによる金融安定に対するリスクが存在」などと発言した。
- ③ 米6月消費者信頼感指数が118.9と予想(116.0)を上回ったほか、米6月リッチモンド連銀製造業指数も予想(5)を上回る7となった。①の影響もあって米10年債利回りが一時2.2%台まで上昇する中、ドル/円は5月17日以来の高値となる112.40円台まで上値を伸ばした。
- ④ 米上院共和党が医療保険制度改革(オバマケア)代替法案の採決延期を決定。トランプ米大統領による減税やインフラ投資といった成長政策への取り組みが遅れるとの見方からドル売りが強まった。豪ドル/円は85.30円台まで上昇するも、この報道に反応してNYダウ平均が下げに転じると85.00円台まで値を下げた。

27日(火)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20225.09 (△71.74)	5714.194 (▼5.968)	3191.197 (△5.753)	7434.36 (▼12.44)	12671.02 (▼99.81)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21310.66 (▼98.89)	0.0470% (▼0.0070)	2.354% (▼0.020%)	1.090% (△0.079)	0.370% (△0.125)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3692% (△0.0369)	2.2051% (△0.0681)	44.24 (△0.86)	1246.90 (△0.50)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.600-113.000	126.400-128.200	84.300-85.700	143.000-144.900

【ドル/円】

昨日のドル/円は、112円台を回復して月初来高値を更新した。ドラギ欧州中銀(ECB)総裁の発言(デフレ圧力はリフレに変わった)をきっかけに欧州債利回りが上昇すると、つれて米債利回りも上昇。こうした中、為替市場では低金利の円が下落圧力を一身に受ける格好となり、ドル/円は一時5月17日以来の高値となる112.40円台まで上値を伸ばした。このところ、一部で話題になっている「円キャリートレード」の復活とも符合する動きと言えよう。チャート面では、114円台まで抵抗らしい抵抗が見当たらない事もあって上方向への視界が広がっている。本日も欧米長期金利の上昇が続けば、113円台を覗う動きに発展してもおかしくないだろう。ただ昨日は、米長期金利の上昇に加え、米上院共和党がヘルスケア法案の採決延期を発表した事などから米国株が下落しており、本日のアジア株や欧州株への影響が気になるところではあろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
6/28(水)	16:30		(米) ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、講演	—	—
	21:30		(米) 5月卸売在庫(前月比)	-0.5%	+0.2%
	22:30	◎	カーニー-BOE総裁、ドラギECB総裁、黒田日銀総裁、パネルディスカッションに参加	—	—
	23:00		(米) 5月中古住宅販売保留件数指数(前月比)	-1.3%	+1.0%
	23:30	○	(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
	26:00	○	(米) 7年債入札(280億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。